

2025年度第2四半期 決算説明資料

あしたにいいこと、
KOBELCOと。

2025年11月10日
株式会社 神戸製鋼所
証券コード 5406



- 総括
- 2025年度 第2四半期業績
- 2025年度 業績見通し
- 株主還元
- セグメント情報
- 参考資料

2025年度 第2四半期業績

- 自動車、建築・土木等の主要需要分野の活動水準は概ね前年同期並みで推移。
- 経常損益は、在庫評価影響の悪化△105億円等により、前年同期比減益の576億円となった一方、中間純損益は、政策保有株式の売却を特別利益に計上したことなどにより、前年同期比増益の628億円となった。**

2025年度 業績見通し

- 下期の需要環境は、**自動車は米国関税影響の縮小により前回比増加を見込むものの、建築・土木は引き続き低調に推移すると想定。**
- 経常損益の上期実績は、前回比＋76億円増益となった。
- 年度の業績見通しについては、上期の増益に加えて、米国関税リスク縮小＋20億円を見込むものの、在庫評価影響の悪化△85億円などにより、**経常損益は前回並みの1,100億円、当期純損益についても前回並みの1,000億円を見通す。**
ROICについては前回並みの5%程度となる見通し。
- フリーキャッシュフローは、運転資本の改善に加え、投資の時期ずれなどにより1,000億円に上方修正。
D/Eレシオは前回比改善の0.65倍程度を見通す。

株主還元

- 中間配当は40円にて決議。年間配当は80円の前回方針から変更なし。

2025年度 第2四半期業績

		前年同期比
売上高	1兆1,814億円	△671億円
経常損益	576億円	△132億円
在庫評価影響を除く	641億円	△27億円
親会社株主に 帰属する中間純損益	628億円	+62億円

2025年度 業績見通し

		前回比
売上高	2兆4,650億円	△150億円
経常損益	1,100億円	±0億円
在庫評価影響を除く	1,240億円	+85億円
親会社株主に 帰属する当期純損益	1,000億円	±0億円
フリーキャッシュフロー	1,000億円	+300億円

財務指標
2025年度見通し

ROIC	: 5%程度	(前回: 5%程度)
ROE	: 8%程度	(前回: 8%程度)
純資産比率	: 44%程度	(前回: 44%程度)
D/Eレシオ	: 0.65倍程度	(前回: 0.7倍程度)

株主還元

1株あたり中間配当40円(決議)、年間配当80円の方針(前回から変更なし)

2025年度 第2四半期業績

	2024年度			2025年度見通し(今回)			増減 ②－①
	上期 ①	下期	通期	上期 ②	下期	通期	
(単位:億円)							
売上高	12,485	13,064	25,550	11,814	12,835	24,650	△671
営業損益	777	810	1,587	625	674	1,300	△151
経常損益	709	862	1,571	576	523	1,100	△132
在庫評価影響を除く	669	892	1,561	641	598	1,240	△27
特別損益	53	△214	△161	179	20	200	+125
親会社株主に帰属する 当期純損益	565	635	1,201	628	371	1,000	+62

売上高

鉄鋼主原料及び発電用石炭の価格下落に伴う、鉄鋼・電力での販売価格の低下等により、前年同期比減収

経常損益

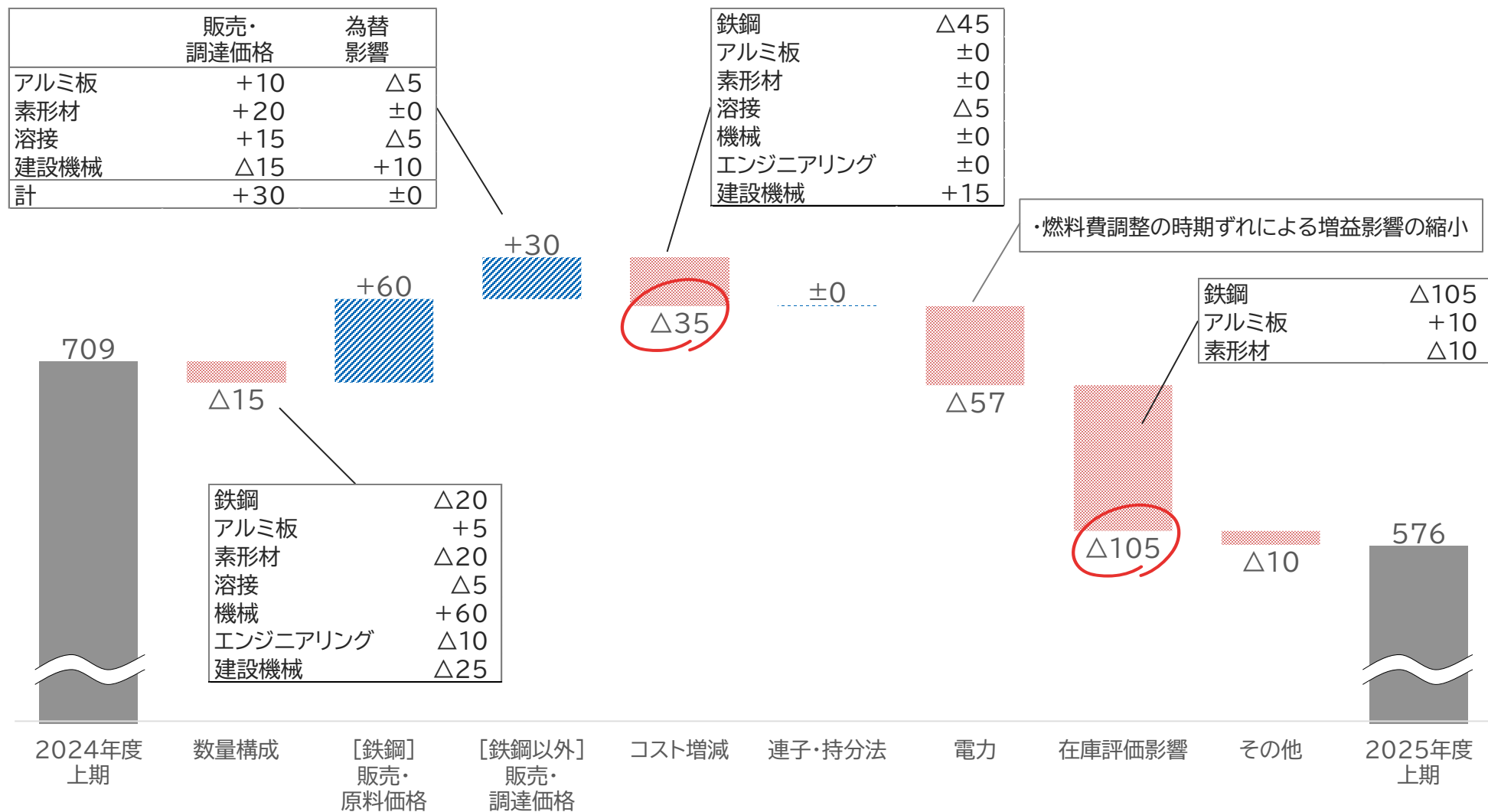
機械での売上の増加、素材系事業での価格転嫁の進展等があったものの、固定費を中心としたコストの増加、在庫評価影響の悪化等により、前年同期比減益

当期純損益

経常損益の悪化はあったものの、政策保有株式の売却等で特別利益を計上したこと等により、前年同期比増益

2025年度 第2四半期業績:経常損益 前年同期比

△132億円



2025年度 第2四半期業績:経常損益 各セグメントの状況

	2024 上期実績	2025 上期実績	差異	
鉄鋼	188	85	$\Delta 102$	メタルスプレッドの改善があったものの、固定費を中心としたコストの増加、在庫評価影響の悪化等により、減益
在庫評価影響を除く	163	165	+ 2	
アルミ板	$\Delta 43$	$\Delta 19$	+ 23	主にディスクの販売数量の増加や価格転嫁の進展等により、改善
在庫評価影響を除く	$\Delta 43$	$\Delta 29$	+ 13	
素形材	23	8	$\Delta 14$	価格転嫁が進展したものの、自動車向けを中心とした販売数量の減少、在庫評価影響の悪化等により、減益
在庫評価影響を除く	8	3	$\Delta 4$	
溶接	21	20	$\Delta 1$	価格転嫁が進展したものの、数量構成の悪化、固定費を中心としたコストの増加等により、減益
機械	123	186	+ 63	一般産業向けを中心とした本体売上の増加等により、増益
エンジニアリング	46	29	$\Delta 16$	案件構成差等により、減益
建設機械	61	36	$\Delta 24$	固定費を中心としたコストの改善があったものの、販売地域構成の悪化等により、減益
電力	292	235	$\Delta 57$	燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、減益

青字は需要変動の影響を受けるユニット

自動車

(鉄鋼、アルミ板、アルミ押出、サスペンション、銅板、鉄粉、溶接)

米国向け完成車輸出の減少リスクの縮小により、国内・海外ともに**前回比増加**

IT・半導体

(アルミ板、アルミ鋳鍛、銅板)

HDD需要は、データセンター向けの投資が引き続き堅調に推移しており、**前回並み**
半導体関連は、緩やかな回復基調に変化なく、**前回並み**

造船

(鉄鋼、鋳鍛鋼、溶接)

手持ち工事量は堅調に推移しているものの、人手不足の継続等により、**前回並み**

航空機

(チタン、アルミ鋳鍛)

老朽機リプレイスや新規建造の拡大など引き続き需要は堅調に推移しており、**前回並み**

飲料用缶

(アルミ板)

ビール類需要は減少傾向が継続しており、**前回並み**

建築・土木

(鉄鋼、溶接)

人手不足に伴う中小型案件での工事の着工遅れ等により、**前回比減少**

(機械)

エネルギー ・化学	中国の内需減退、米国関税影響に伴う投資時期の不透明感等があるものの、 前回並み
--------------	--

一般産業	国内は、堅調に推移 海外は、中国・東南アジア市場の需要が引き続き低迷
------	---------------------------------------

(建設機械・油圧ショベル)

日本	レンタル需要の低迷の長期化等により、 前回比減少
----	---------------------------------

中国	政府主導の農地整備工事の伸び悩み等により、 前回比減少
----	------------------------------------

北米	インフラ向け需要が堅調に推移しており、 前回並み
----	---------------------------------

欧州	景気悪化に伴う建設業界の需要停滞等により、 前回比減少
----	------------------------------------

東南アジア	資源安に伴うインドネシアでの需要の減少等により、 前回比減少
-------	---------------------------------------

2025年度 業績見通し

(単位:億円)	2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			増減
	上期	下期	通期 ①	上期	下期	通期 ②	②－①
売上高	12,100	12,700	24,800	11,814	12,835	24,650	△150
営業損益	600	700	1,300	625	674	1,300	±0
経常損益	500	600	1,100	576	523	1,100	±0
在庫評価影響を除く	545	610	1,155	641	598	1,240	+85
特別損益	167	33	200	179	20	200	±0
親会社株主に帰属する 当期純損益	550	450	1,000	628	371	1,000	±0

売上高

鉄鋼での鋼材市況下落に伴う販売価格の低下により、前回比減収の見通し

経常損益

上期の増益に加え、米国関税リスクの縮小を見込むものの、在庫評価影響の悪化により、前回並みの見通し

当期純損益

経常損益・特別損益共に前回並み

- 上期の米国関税影響は△10億円となった。
- 下期においては、建設機械での追加関税の対象台数の想定差や、素材系事業における米国向け完成車輸出の減少リスクが縮小(△20%→△10%)したこと等により、前回比+20億円の改善を見込む。

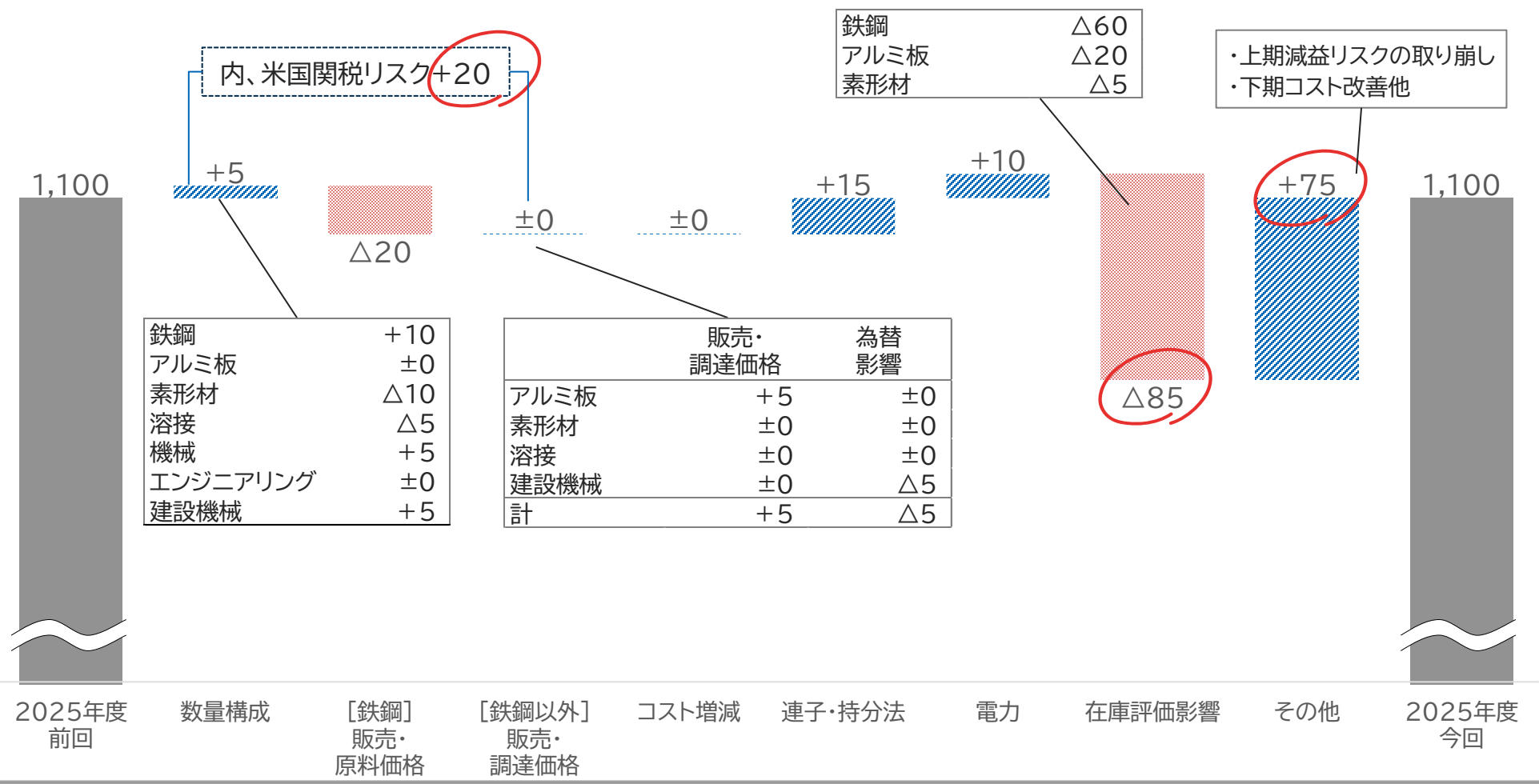
【米国関税影響】

(単位:億円)

	今回			米国関税影響織り込み内容	【参考】 前回 (年度)
	上期 実績	下期 リスク	年度		
直接輸出	△5	△5	△10	• 建設機械の米国販社での関税負担(鉄鋼・アルミ派生品影響含む) • 関税負担分の販売価格への転嫁	△20
間接輸出	—	△15	△15	• 素材系事業での自動車向けを中心とした数量減少リスク	△25
その他	△5	—	△5	• 米国現地法人(販社除く)における輸入品の関税負担等	△5
合計	△10	△20	△30		△50

2025年度 業績見通し: 経常損益 前回比

±0億円

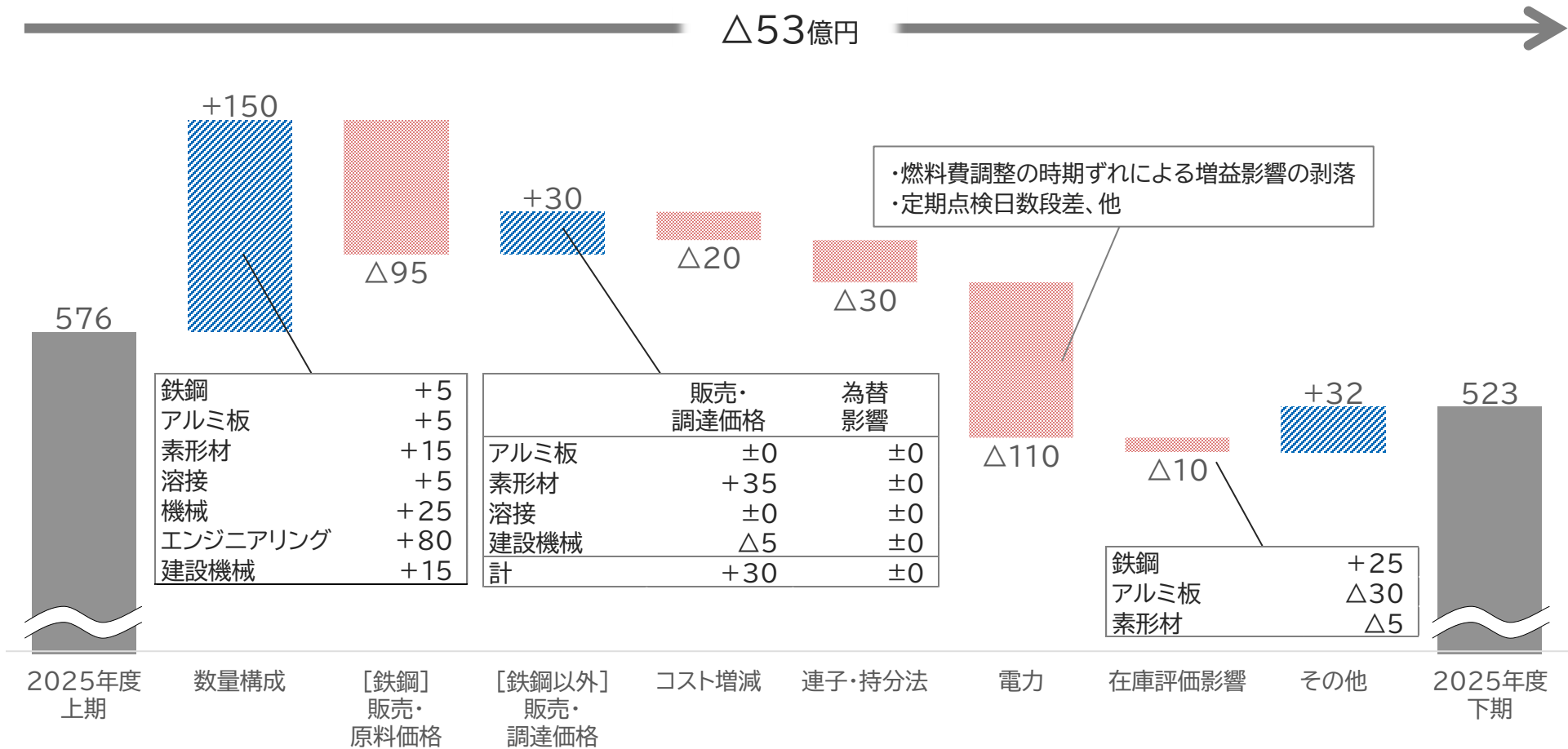


2025年度 業績見通し:経常損益 各セグメントの状況

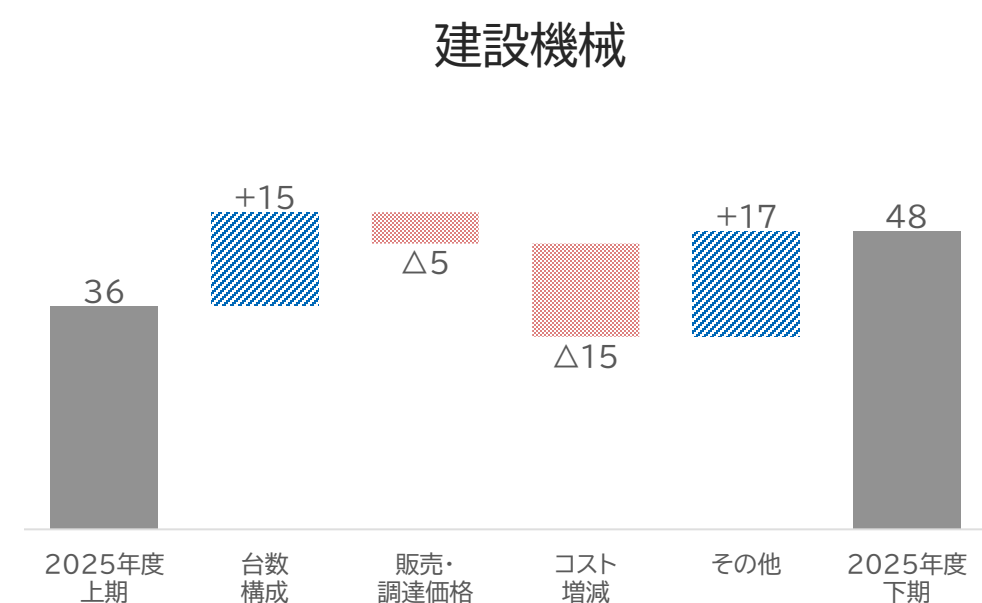
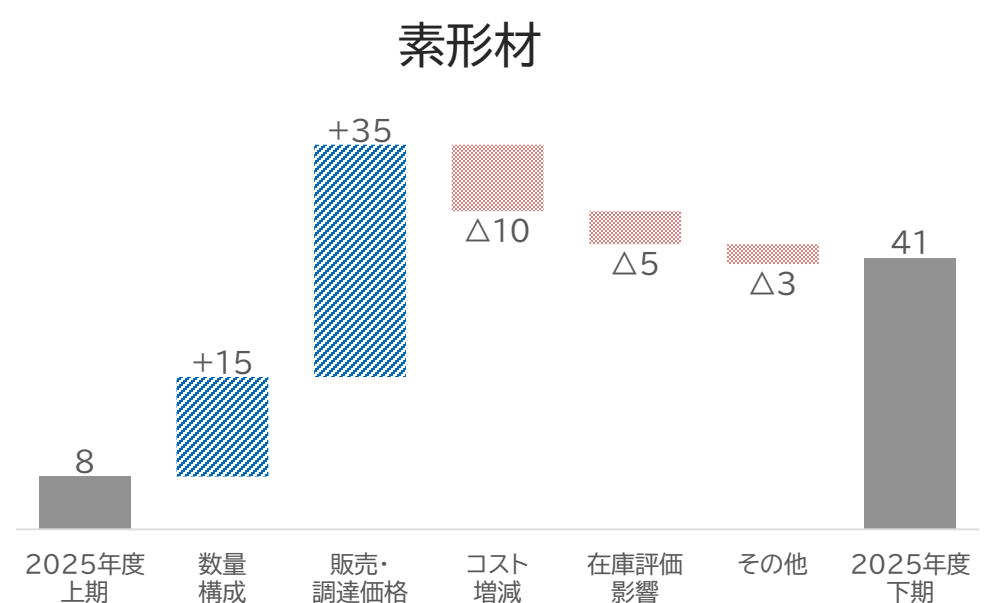
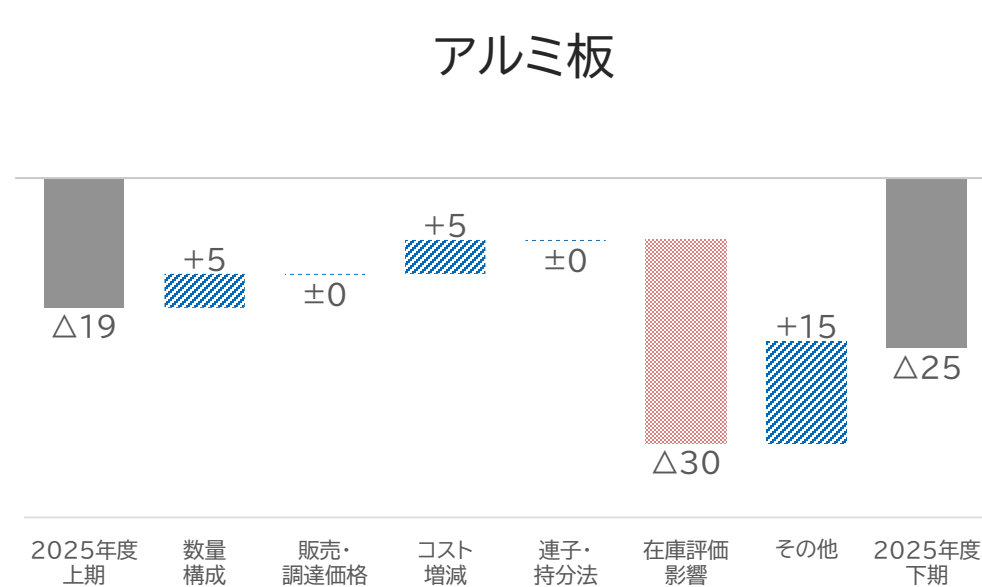
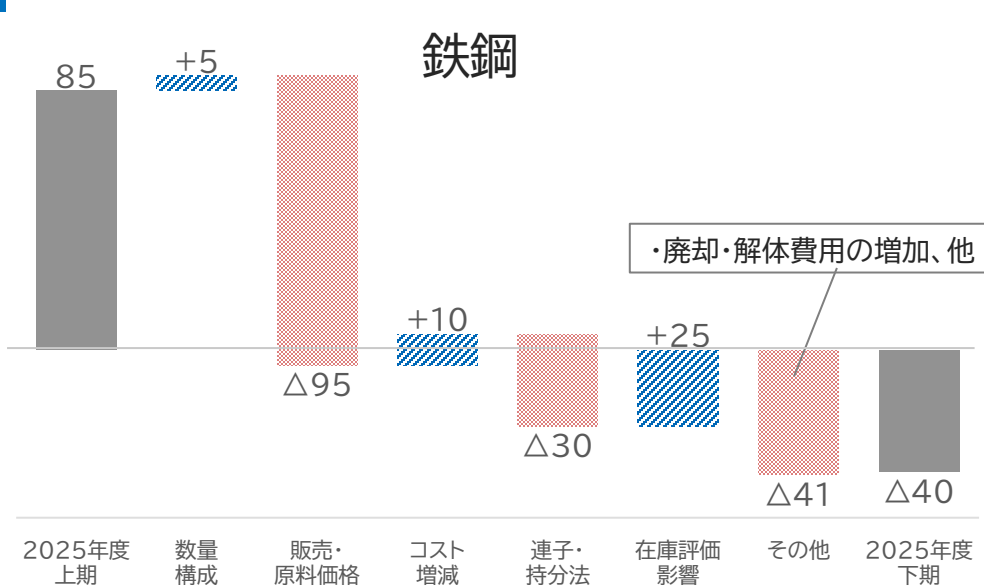
	2025 前回	2025 今回	差異	
鉄鋼	90	45	△ 45	米国関税リスクの縮小を見込むものの、在庫評価影響の悪化等により、減益の見通し
在庫評価影響を除く	165	180	+ 15	
アルミ板	△ 20	△ 45	△ 25	コストの増加や在庫評価影響の悪化等により、悪化の見通し
在庫評価影響を除く	△ 30	△ 35	△ 5	
素形材	70	50	△ 20	個別車種の販売数量の減少等により、減益の見通し
在庫評価影響を除く	60	45	△ 15	
溶接	50	50	± 0	前回並みの見通し
機械	400	400	± 0	前回並みの見通し
エンジニアリング	120	120	± 0	前回並みの見通し
建設機械	85	85	± 0	米国関税リスクの縮小を見込むものの、主要通貨以外の為替影響等により、前回並みの見通し
電力	350	360	+ 10	売電価格に関する一過性の増益影響等により、増益の見通し
その他・調整額	△ 45	35	+ 80	上期減益リスクの取り崩し、下期コスト改善他

2025年度 業績見通し: 経常損益 上期→下期差異内訳

- 機械系事業での売上の増加(下期集中)を見込むものの、鉄鋼メタルスプレッドの悪化、電力の燃料費調整の時期ずれによる増益影響の剥落、定期点検段差等により、上期から下期にかけて△53億円の減益となる見通し。



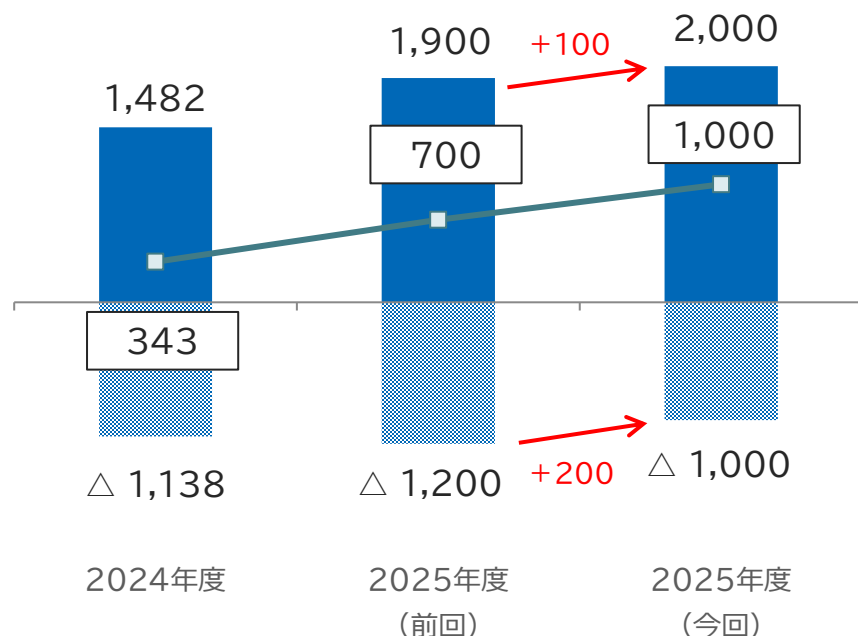
2025年度 業績見通し:経常損益 上期→下期差異内訳 主要セグメント



- 営業キャッシュフローは、素材系事業での棚卸資産削減や機械系事業での入金前倒し等により増加。投資キャッシュフローは、更新投資等の支払い時期ずれにより減少し、フリーキャッシュフローは前回比+300億円改善の見通し。
- 有利子負債残高はフリーキャッシュフローの改善などにより、前回比150億円の減少を見込む。D/Eレシオについては、0.65倍程度となる見通し。

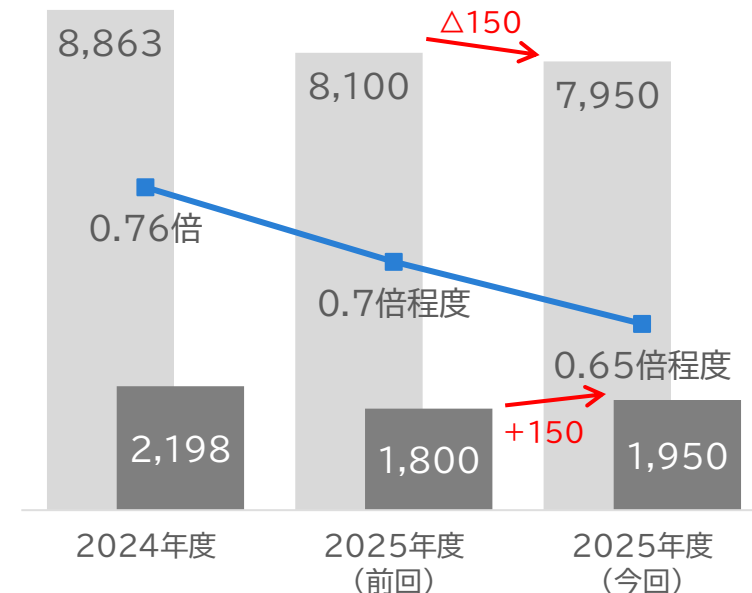
キャッシュフロー

■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ フリーキャッシュフロー
(億円)



D/Eレシオ

■ 有利子負債残高(リース含む) ■ 現預金残高 ■ D/Eレシオ
(億円)



前回公表の方針の通り、中間配当は1株につき40円とすることを決議
期末配当の方針は前回公表から変更なし

還元方針 継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、
財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に
考慮して決定

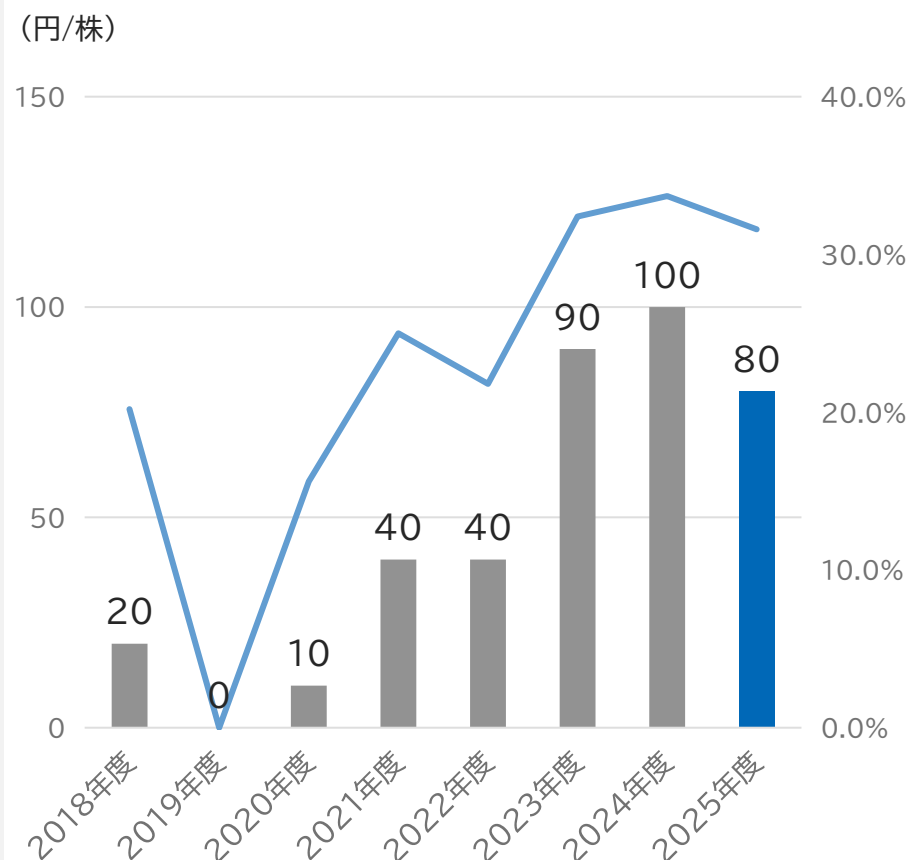
中期経営計画(2024～2026年度)

配当性向 30%程度

配当金額(円/株)
配当性向(%)

2024年度		2025年度	
中間	期末	中間(決議)	期末(方針)
45円	55円	40円	40円
100円		80円	
32.8%		31.5%	

配当金額・配当性向



セグメント情報

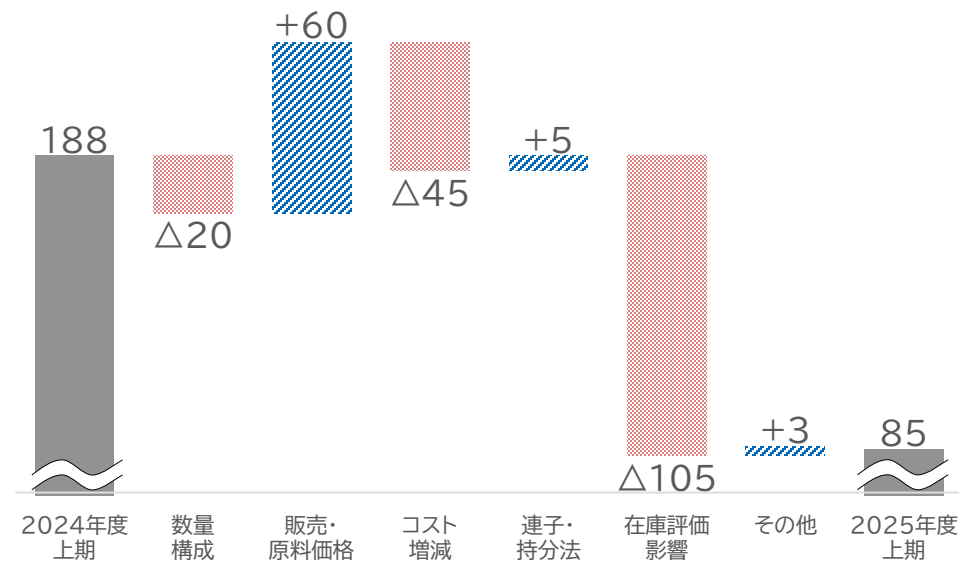
2025年度第2四半期業績・2025年度業績見通し



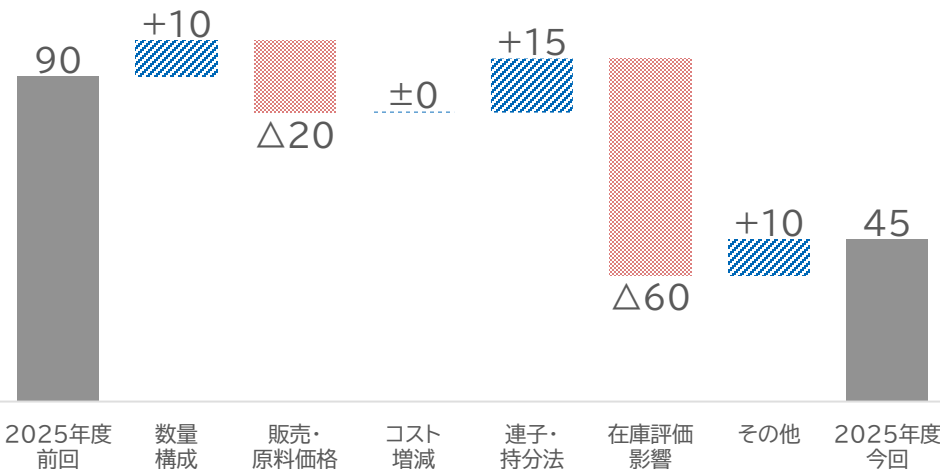
(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	④－①	⑤－②	⑤－③
鉄鋼アルミ	5,604	5,556	11,161	5,100	5,060	10,160	5,060	4,939	10,000	△544	△1,161	△160
素形材	1,529	1,642	3,171	1,650	1,780	3,430	1,543	1,786	3,330	+14	+158	△100
溶接	468	470	939	460	490	950	461	488	950	△7	+10	±0
機械	1,200	1,450	2,651	1,360	1,550	2,910	1,290	1,619	2,910	+89	+258	±0
エンジニアリング	653	1,095	1,748	820	1,130	1,950	739	1,190	1,930	+86	+181	△20
建設機械	1,975	1,905	3,880	1,880	2,030	3,910	1,880	2,109	3,990	△94	+109	+80
電力	1,336	1,251	2,588	1,120	1,020	2,140	1,134	1,005	2,140	△201	△448	±0
その他	37	52	89	30	40	70	25	39	65	△11	△24	△5
調整額	△319	△359	△679	△320	△400	△720	△320	△344	△665	△0	+14	+55
売上高	12,485	13,064	25,550	12,100	12,700	24,800	11,814	12,835	24,650	△671	△900	△150
営業損益	777	810	1,587	600	700	1,300	625	674	1,300	△151	△287	±0
鉄鋼アルミ	144	92	236	60	10	70	65	△65	0	△78	△236	△70
素形材	23	83	107	20	50	70	8	41	50	△14	△57	△20
溶接	21	30	52	20	30	50	20	29	50	△1	△2	±0
機械	123	202	325	185	215	400	186	213	400	+63	+74	±0
エンジニアリング	46	114	161	25	95	120	29	90	120	△16	△41	±0
建設機械	61	126	187	20	65	85	36	48	85	△24	△102	±0
電力	292	230	523	205	145	350	235	124	360	△57	△163	+10
その他	20	18	38	15	30	45	13	36	50	△6	+11	+5
調整額	△23	△36	△60	△50	△40	△90	△19	4	△15	+4	+45	+75
経常損益	709	862	1,571	500	600	1,100	576	523	1,100	△132	△471	±0
在庫評価影響を除く	669	892	1,561	545	610	1,155	641	598	1,240	△27	△321	+85
特別損益	53	△214	△161	167	33	200	179	20	200	+125	+361	±0
親会社株主に帰属する 当期純損益	565	635	1,201	550	450	1,000	628	371	1,000	+62	△201	±0

(単位:億円)		2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
		上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	上期 ④－①	通期 ⑤－②	前回比 ⑤－③
売上高		4,616	4,528	9,144	4,210	4,150	8,360	4,178	4,061	8,240	△437	△904	△120
経常損益		188	55	243	90	0	90	85	△40	45	△102	△198	△45
在庫評価影響を除く		163	135	298	150	15	165	165	14	180	+2	△118	+15
粗鋼生産量 (高砂含む)	[万t]	301	295	596	295	285	580	293	287	580	△8	△16	±0
鋼材 販売数量(単体)	[万t]	234	238	472	230	230	460	231	229	460	△3	△12	±0
(国内)		179	184	363				185				+5	
(輸出)		55	54	109				46				△8	
(輸出比率)		24%	22%	23%				20%				△3%	
鋼材 販売単価	[千円/t]	148	140	144				135				△14	

2025年度 第2四半期業績 (前年同期比)



2025年度 業績見通し (前回比)

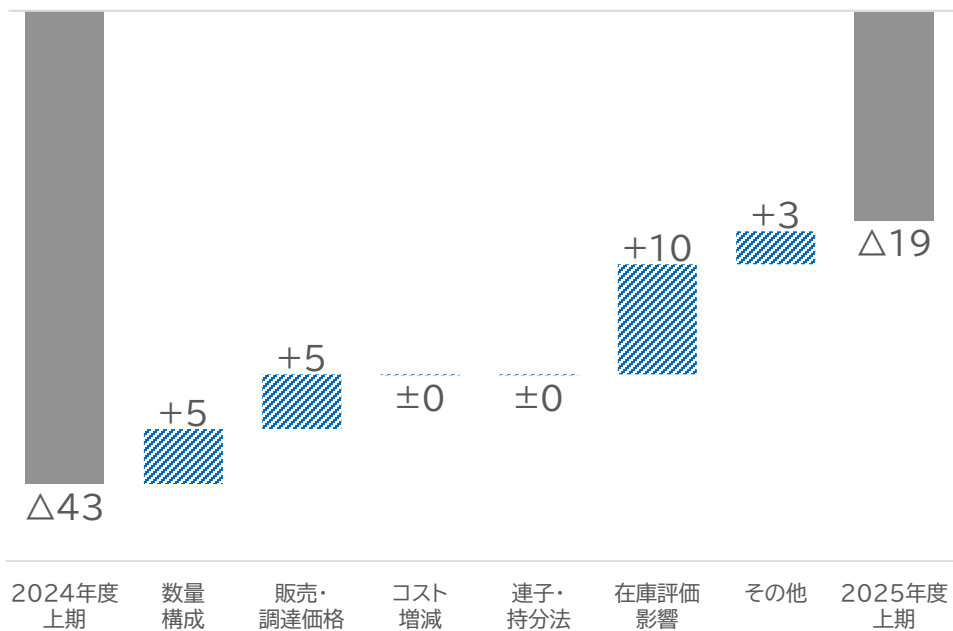


※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

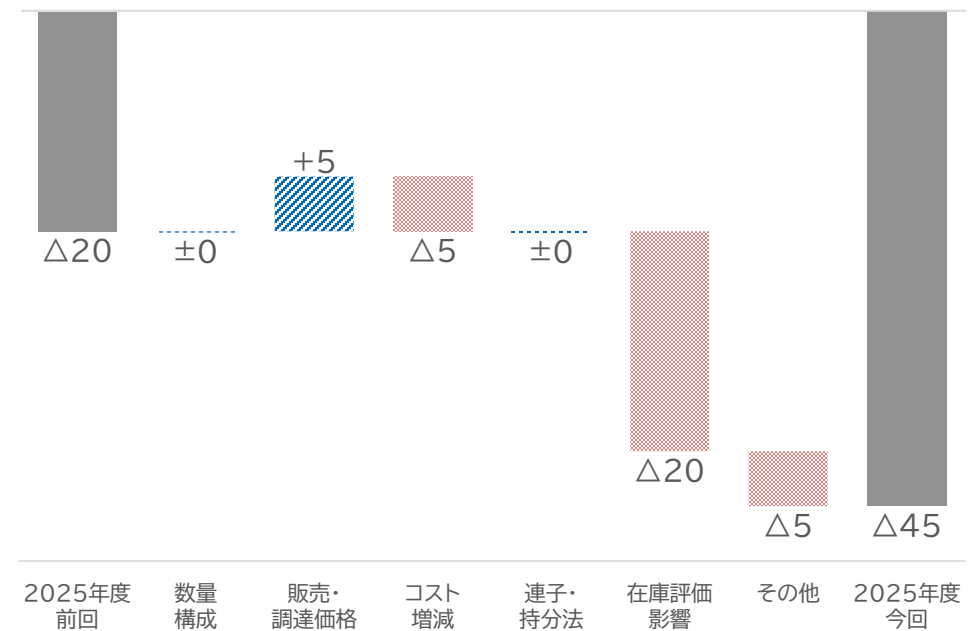
(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
	上期 ①	下期 ②	通期 ②	上期 ③	下期 ③	通期 ③	上期 ④	下期 ⑤	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	988	1,028	2,017	890	910	1,800	881	878	1,760	△106	△257	△40
経常損益	△43	36	△6	△30	10	△20	△19	△25	△45	+23	△38	△25
在庫評価影響を除く	△43	6	△36	△30	0	△30	△29	△5	△35	+13	+1	△5
アルミ板 販売数量(連結) [千t]	154	153	307	135	135	270	135	135	270	△19	△37	±0
(国内)	110	109	219				111			+2		
(海外)	44	43	88				23			△21		

※2025年度より神鋼汽車鋁材(天津)有限公司は子会社から関連会社に変更(売上高・販売数量から除外)

2025年度 第2四半期業績 (前年同期比)



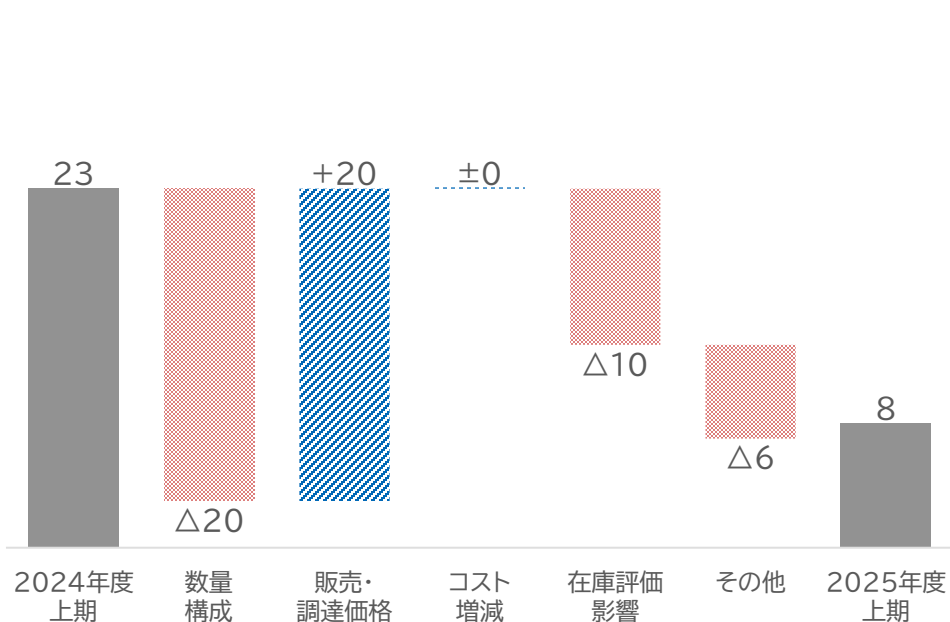
2025年度 業績見通し (前回比)



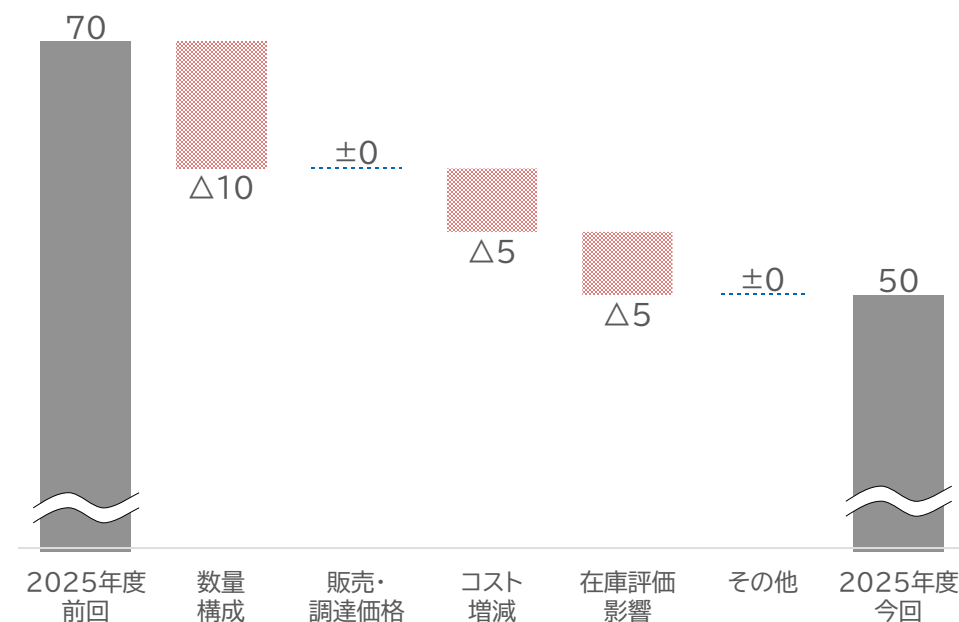
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
	上期 ①	下期 ②	通期 ②	上期 ③	下期 ③	通期 ③	上期 ④	下期 ⑤	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	1,529	1,642	3,171	1,650	1,780	3,430	1,543	1,786	3,330	+14	+158	△100
経常損益	23	83	107	20	50	70	8	41	50	△14	△57	△20
在庫評価影響を除く	8	63	72	5	55	60	3	41	45	△4	△27	△15
アルミ押出 販売数量 (連結) [千t]	19	19	38	17	20	37	17	19	36	△2	△2	△1
(国内)	15	15	30				13			△1		
(海外)	4	4	8				4			△0		
銅板 販売数量 (単体) [千t]	26	27	53	27	31	58	25	31	56	△1	+3	△2

2025年度 第2四半期業績 (前年同期比)



2025年度 業績見通し (前回比)



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	④－①	⑤－②	⑤－③
売上高	468	470	939	460	490	950	461	488	950	△7	+10	±0
経常損益	21	30	52	20	30	50	20	29	50	△1	△2	±0
溶接材料 販売数量 (連結) [千t]	112	115	227	115	120	235	112	119	230	△1	+3	△5
(国内)	48	45	92				45			△3		
(海外)	64	70	134				67			+2		

2025年度 第2四半期業績（前年同期比）

数量 国内:建築・自動車の需要減により、減少
海外:中国での需要増などにより、増加

価格 価格転嫁の進展等により、上昇

コスト 労務費等の固定費を中心に増加

2025年度 業績見通し（前回比）

数量 国内:建築・自動車の需要減により、減少
海外:前回並みの見通し

価格 前回並みの見通し

コスト 諸経費の抑制等により、減少

(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	1,200	1,450	2,651	1,360	1,550	2,910	1,290	1,619	2,910	+89	+258	±0
経常損益	123	202	325	185	215	400	186	213	400	+63	+74	±0
受注高	1,193	1,432	2,625	1,400	1,300	2,700	1,233	1,466	2,700	+40	+74	±0
受注残高	2,522	2,544	2,544				2,385			△136		

2025年度 第2四半期業績（前年同期比）

受注高 等方圧加圧装置(IP装置)での好調な需要を受け、増加

経常損益 一般産業向けを中心とした本体売上の増加等により、増益

2025年度 業績見通し（前回比）

受注高 前回並みの見通し

経常損益 前回並みの見通し

(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
	上期 ①	下期	通期 ②	上期	下期	通期 ③	上期 ④	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	653	1,095	1,748	820	1,130	1,950	739	1,190	1,930	+86	+181	△20
経常損益	46	114	161	25	95	120	29	90	120	△16	△41	±0
受注高	595	1,052	1,647	950	1,000	1,950	884	1,065	1,950	+289	+302	±0
受注残高	4,431	4,419	4,419				4,450			+18		

2025年度 第2四半期業績（前年同期比）

受注高 還元鉄関連事業で大型案件を受注したこと等により、増加

経常損益 案件構成差等により、減益

2025年度 業績見通し（前回比）

受注高 前回並みの見通し

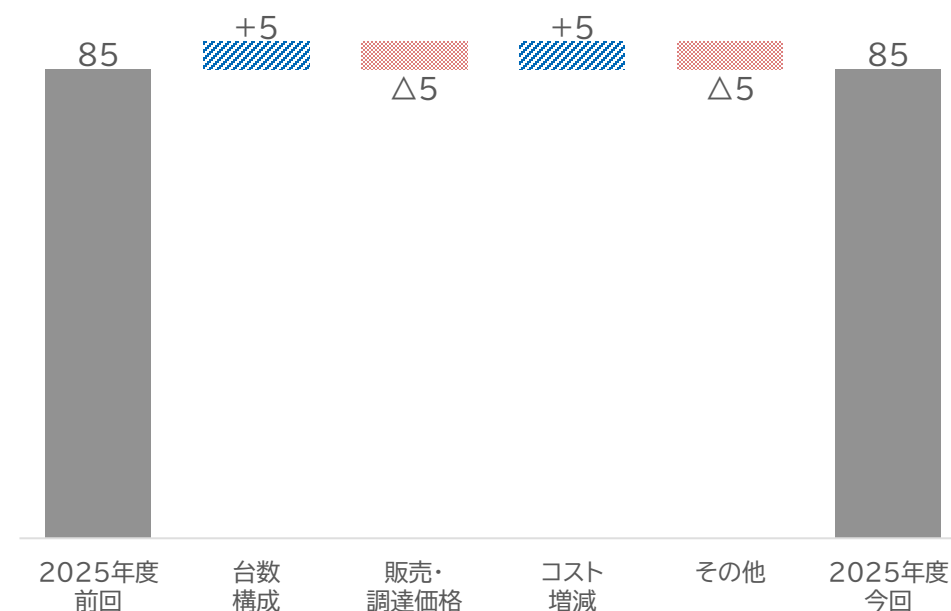
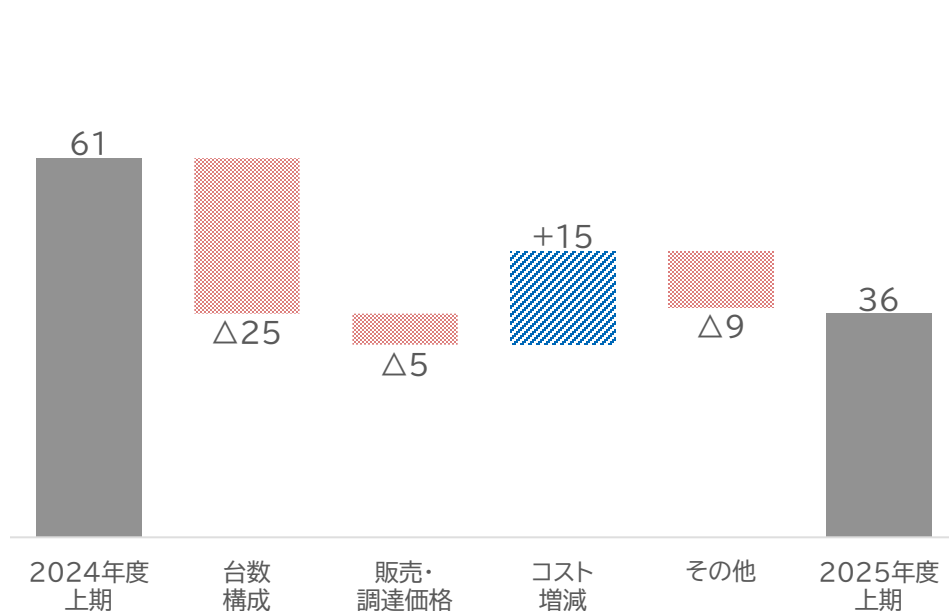
経常損益 前回並みの見通し

(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
	上期 ①	下期 ②	通期 ②	上期 ③	下期 ③	通期 ③	上期 ④	下期 ⑤	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	1,975	1,905	3,880	1,880	2,030	3,910	1,880	2,109	3,990	△94	+109	+80
経常損益	61	126	187	20	65	85	36	48	85	△24	△102	±0
油圧ショベル 販売台数(連結) [千台]	10.4	9.9	20.3	10.5	12.0	22.5	10.3	11.7	22.0	△0.1	+1.7	△0.5
(国内) ※1	3.0	3.6	6.6				2.6			△0.5		
(海外)	7.4	6.3	13.7				7.8			+0.4		
クローラークレーン 販売台数(連結) [台]	157	217	374	175	165	340	154	186	340	△3	△34	±0

※1:ミニショベルを含む

2025年度 第2四半期業績 (前年同期比)

2025年度 業績見通し (前回比)



(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			2024年度比		前回比
	上期 ①	下期 ②	通期 ③	上期 ④	下期 ⑤	通期 ⑥	上期 ⑦	下期 ⑧	通期 ⑨	⑦-①	⑧-②	⑨-③
売上高	1,336	1,251	2,588	1,120	1,020	2,140	1,134	1,005	2,140	△201	△448	±0
経常損益	292	230	523	205	145	350	235	124	360	△57	△163	+10
燃料費調整の時期ずれ	40	10	50	10	0	10	10	0	10	△30	△40	±0
売電価格に関する一過性の損益影響	20	30	50	0	0	0	10	0	10	△10	△40	+10

2025年度 第2四半期業績（前年同期比）

販売電力量 真岡発電所の定期点検日数の増加(法定点検)等により、減少

販売単価 石炭価格の変動により、下落

経常損益 燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小等により、減益

2025年度 業績見通し（前回比）

販売電力量 前回並みの見通し

販売単価 前回並みの見通し

経常損益 売電価格に関する一過性の増益影響等により、増益

参考資料

	2024年度実績			2025年度 (前回)	2025年度(今回)		
	上期	下期	通期		上期	下期	通期
USドル (円/\$)	152.4	152.7	152.6	144.7	146.1	145.0	145.6
中国元 (円/元)	21.2	21.1	21.1	20.0	20.3	20.0	20.2
ユーロ (円/€)	165.8	161.5	163.7	168.8	168.7	170.0	169.3

【為替の感応度分析】

USドル1円 円安に伴う今後の業績影響

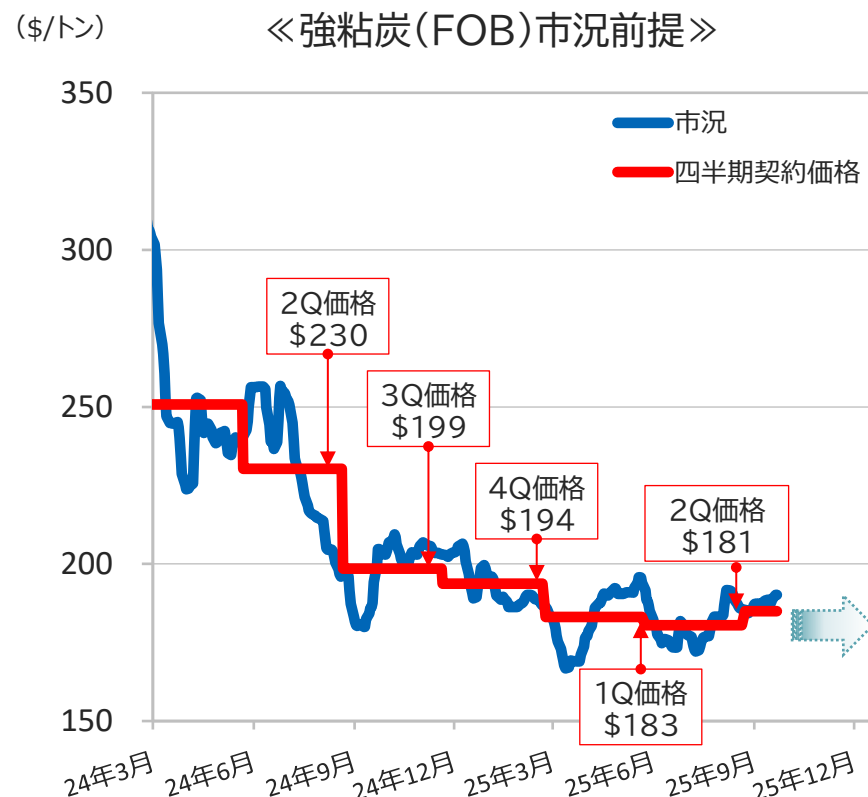
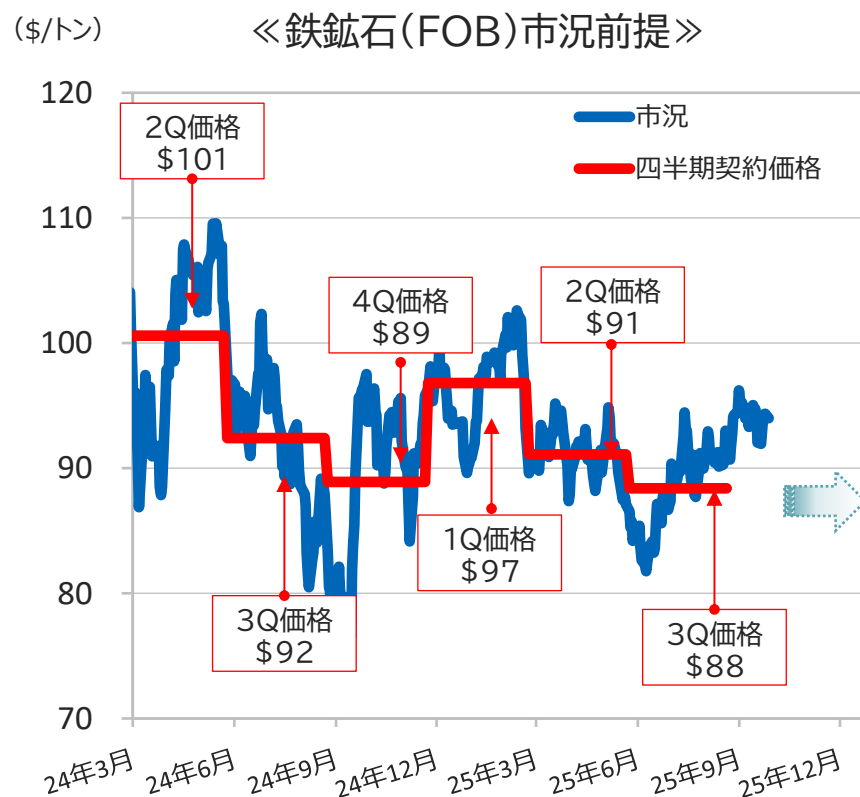
鉄鋼 : △1億円程度(ドルバランスの影響△3億円、在庫評価影響・販売価格への転嫁等+2億円)

建設機械: +1億円程度(ドルバランスの影響)

ユーロ1円 円安に伴う今後の業績影響

建設機械: +1億円程度(ユーロバランスの影響)

鉄鉱石	2025年度3Q価格は\$88で決着済み。4Qの価格レベルは足元並みの水準にて想定。
強粘炭	2025年度2Q価格は\$181で決着済み。下期以降の価格レベルは足元並みの水準にて想定。
一般炭	2025年7月から9月にかけて、\$110前後で市況は推移。下期以降は足元並みの水準にて想定。



(単位: 億円)

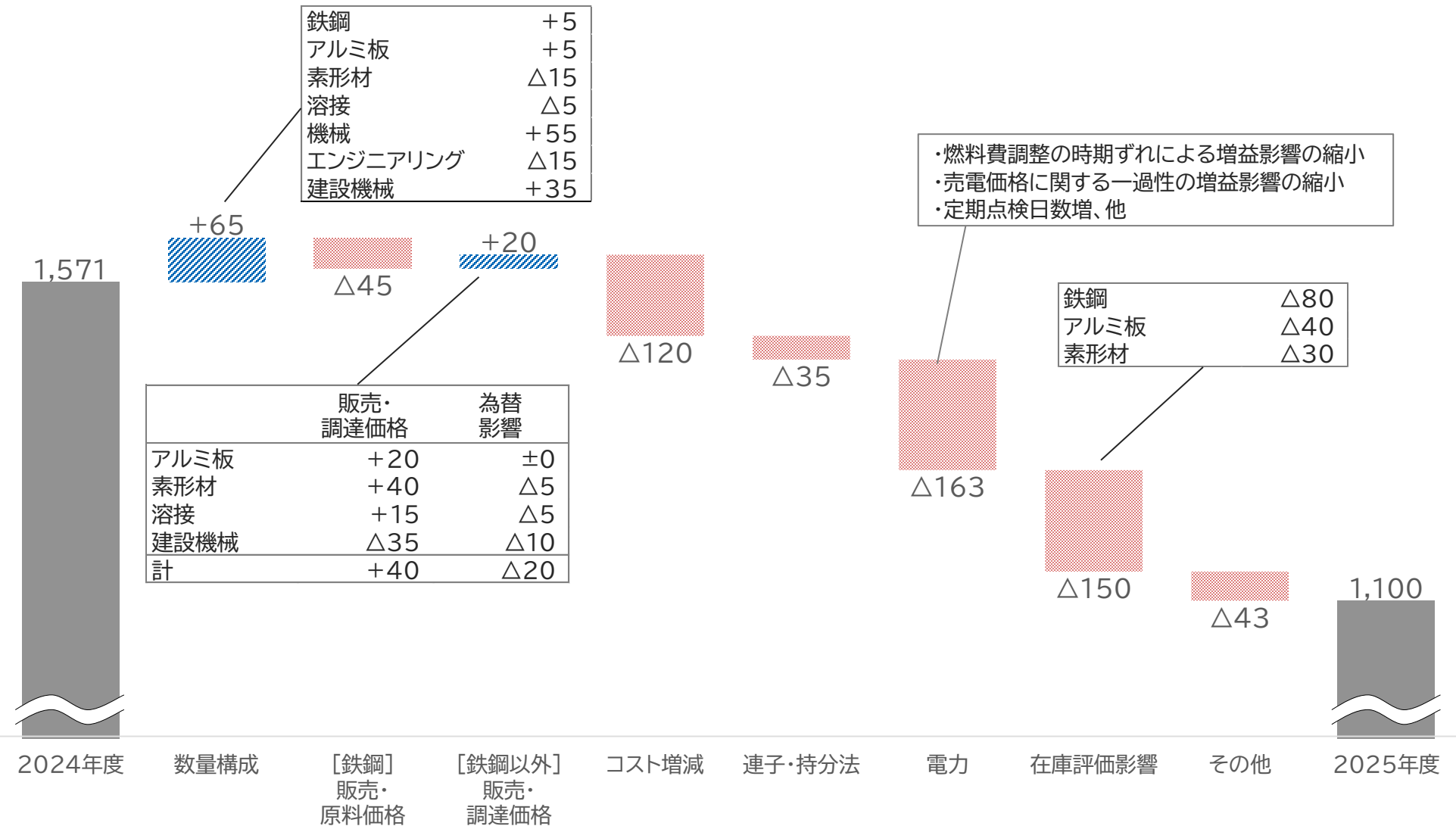
鉄鋼	2024年度			2025年度(前回)			2025年度(今回)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
鉄鉱石	△15	△20	△35	5	△10	△5	5	△10	△5
石炭	△25	△10	△35	△5	0	△5	△5	0	△5
キャリアオーバー	△40	△30	△70	0	△10	△10	0	△10	△10
総平均	35	△70	△35	△50	△25	△75	△80	△45	△125
低価法	△10	△10	△20	△10	10	0	0	△10	△10
在庫評価影響	25	△80	△55	△60	△15	△75	△80	△55	△135

アルミ板	2024年度			2025年度(前回)			2025年度(今回)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
総平均	△5	30	25	0	10	10	15	△20	△5
低価法	5	0	5	0	0	0	△5	0	△5
在庫評価影響	0	30	30	0	10	10	10	△20	△10

素形材	2024年度			2025年度(前回)			2025年度(今回)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
総平均	25	10	35	20	△10	10	20	△5	15
低価法	△10	10	0	△5	5	0	△15	5	△10
在庫評価影響	15	20	35	15	△5	10	5	0	5

2025年度 業績見通し:経常損益 2024年度比

△471億円



- 上期:政策保有株式・土地の売却益を計上した一方、日本高周波鋼業(株)の特殊鋼事業譲渡にあたって見込まれる株式売却損の引当を実施したことにより、特別損益は179億円となった。
- 下期:政策保有株式の売却益を見込む。

特別損益の内訳

(単位:億円)

		2025年度		主な内訳
		上期実績	年度見通し	
投資有価証券売却益	他	154	175	• 日本製鉄(株)株式等の政策保有株式の売却益
固定資産売却益		66	66	• 海外に保有する土地の売却益
関係会社株式売却損		△41	△41	• 日本高周波鋼業(株)の特殊鋼事業譲渡に伴う株式売却損(上期は引当金繰入額)
特別損益		179	200	

		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 見通し(前回)	2025年度 見通し(今回)
設備投資	計上	973億円	1,052億円	1,158億円	1,300億円	1,300億円
	支払	989億円	948億円	1,132億円	1,500億円	1,400億円
減価償却費		1,125億円	1,190億円	1,224億円	1,250億円	1,250億円

純資産比率	34.0%	38.6%	42.8%	44%程度	44%程度
有利子負債(リース含)	9,172億円	8,735億円	8,863億円	8,100億円	7,950億円
D/Eレシオ ※1	1.00倍	0.83倍	0.76倍	0.7倍程度	0.65倍程度

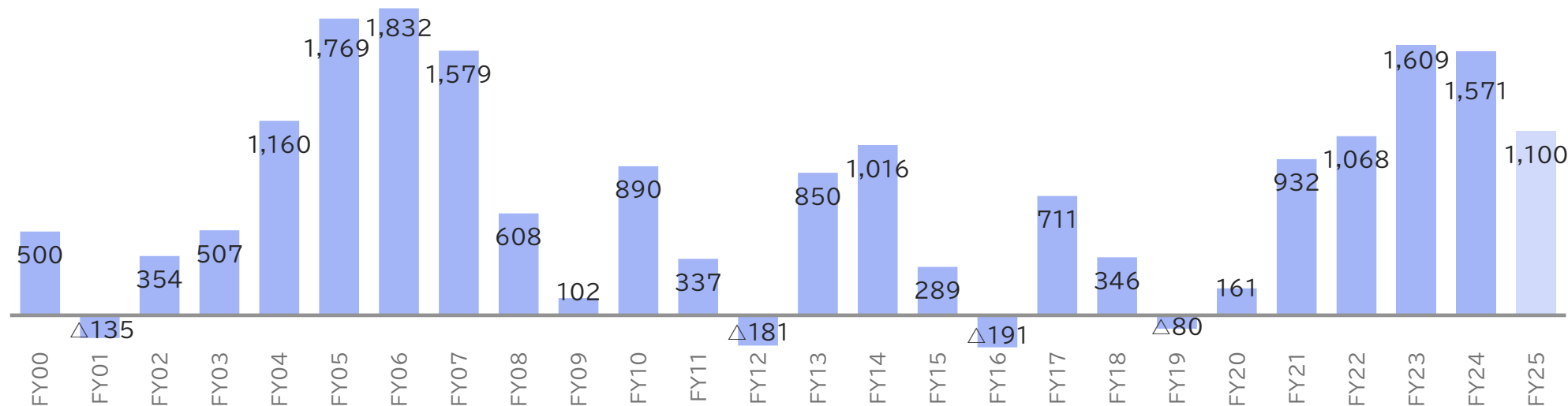
営業キャッシュフロー	1,196億円	2,052億円	1,482億円	1,900億円	2,000億円
投資キャッシュフロー	△ 972億円	△ 537億円	△ 1,138億円	△ 1,200億円	△ 1,000億円
フリーキャッシュフロー	224億円	1,515億円	343億円	700億円	1,000億円
現預金残高	2,033億円	2,787億円	2,198億円	1,800億円	1,950億円

1株当たり当期純損益	183.80円	277.38円	304.64円	253.99円	253.75円
ROE ※2	8.4%	11.1%	10.8%	8%程度	8%程度
ROIC ※3	4.9%	6.7%	6.9%	5%程度	5%程度

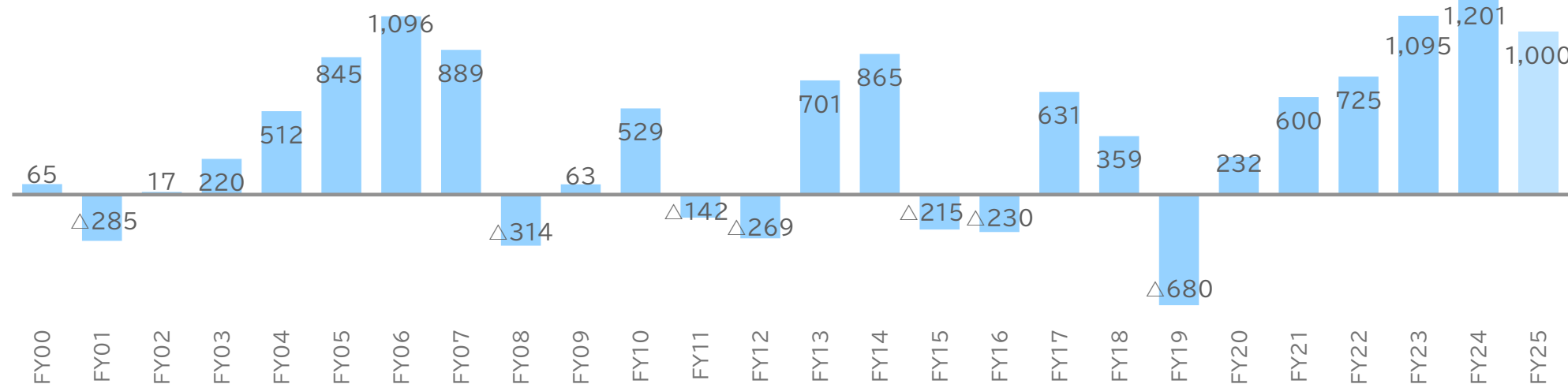
※1: D/Eレシオ=有利子負債(リース含む)/自己資本 ※2: 親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本 ※3: 税引後事業利益/投下資本

【経常損益】

(単位：億円)



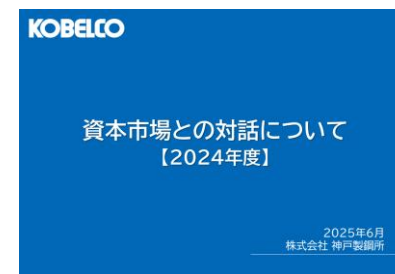
【親会社株主に帰属する当期純損益】



資本市場との対話

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、資本市場との対話を積極的に行っており、その内容をホームページに開示しています。

2024年度版(2025年6月公表): [capital markets 24.pdf](#)



社会からの評価(主なもの)

◆FTSE4Good Index Series



FTSE4Good

◆FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

◆FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Index

◆CDP



「気候変動」で「A」の評価を獲得

◆MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX ※

2025 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

◆MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX(WIN)※

2025 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

※THE INCLUSION OF KOBE STEEL, LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF KOBE STEEL, LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI.

MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

◆DX銘柄2025



DX注目企業2025

Digital Transformation

KOBELCO が 実現したい未来	「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来 安全・安心で豊かな暮らしの中で、 今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。
KOBELCO の 使命・存在意義	KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命 個性と技術を活かし合い、 社会課題の解決に挑みつづける。
KOBELCO の 3つの約束	KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観 1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します 2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します
KOBELCO の 6つの誓い	「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範 1. 高い倫理観とプロ意識の徹底 2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献 3. 働きやすい職場環境の実現 4. 地域社会との共生 5. 環境への貢献 6. ステークホルダーの尊重 品質憲章

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略等、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性等様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - ・ 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - ・ 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - ・ 為替相場の変動
 - ・ 原材料のアベイラビリティや市況
 - ・ 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&A等の事業展開
 - ・ 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化